

大阪大学総長選考の基本方針

平成27年3月18日 大阪大学総長選考会議決定

I 求められる総長像

大阪大学総長に求められる資質・能力として策定した「求められる総長像」に基づき総長選考を行う。

II 総長の任期

任期は6年とし、引き続き再任を妨げない。
ただし、通算10年を超えて在任することはできない。

※ 現総長が総長予定者となった場合、任期は2年とし、引き続き再任を妨げない。
ただし、通算10年を超えて在任することはできない。

III 総長の業績評価

総長の業績評価は、監事との連携を密にして実施する。

- 1 評価方法 : 面接
- 2 時期 : 毎年度実施
- 3 監事との連携 : 監事の意見を聴取

IV 総長の解任

- 1 総長解任の発議
 - 1) 経営協議会または教育研究評議会からの発議
 - 2) 教職員からの発議
専任教員（教授）、職員（部長級）の総員の3分の1以上
- 2 学内意向調査
投票により実施（対象：専任教員（教授）、職員（部長級））
- 3 解任申出の有無の決定
総長選考会議は、総長のインタビュー（面接）を実施し、学内意向調査の結果を参考に解任申出の有無を決定。

V 総長の選考方法

1 候補者の推薦

学内外を問わず、広く求める

1) 教職員等からの推薦：30名の推薦（推薦理由及び候補者の所信表明の提出）

推薦人：役員、専任教員（講師以上）、職員（課長級以上）

推薦理由：推薦人は「求められる総長像」に留意し、大阪大学総長としてふさわしい候補者を推薦。

所信表明：候補者は「求められる総長像」を自ら実現することを明確に表明。

2) 総長選考会議委員から候補者を推薦することができる。

2 候補者のインタビュー（面接）

総長選考会議が、推薦された全候補者のインタビュー（面接）を行う。

○ インタビュー結果は公表しない。

3 候補者の所信表明

候補者が所信表明を行う場を設ける。

所信表明の主会場（吹田キャンパス）を設け、豊中・箕面キャンパスはライブ配信を行う。

質疑応答を行う。

4 学内意向調査

○実施方法：投票による。

・候補者3名以内の場合は、投票1回のみ。

・候補者4名以上の場合は、投票を2回実施。

2回目の投票は、1回目の投票の上位3名を対象に実施。

○投票対象者：役員、専任教員（教授）、職員（部長級）

○実施会場：大阪大学吹田キャンパスコンベンションセンターMOホール

5 総長予定者の最終選考

総長選考会議が、インタビューの結果及び学内意向調査の結果を参考に最終選考を行う。

6 総長予定者の公表

○学内周知、文科省報告、記者発表

○経営協議会及び教育研究評議会へ報告

「求められる総長像」

平成 27 年 3 月 18 日大阪大学総長選考会議決定

大阪大学は、大阪大学の原点である適塾や精神的源流である懐徳堂から受け継ぐ先見性と自由闊達な精神を継承した大阪大学憲章に掲げる基本理念を尊重し、「物事の本質を見極める」高いレベルの学問を追及し、「学問による調和ある多様性の創造」により社会に大きく貢献することを目標として、その基礎となる教育力・研究力を強化し、世界屈指の研究型総合大学になることを目指している。

総長には、その実現を追及する強い意志を有するとともに、次のような資質・能力が求められる。

- 人格が高潔で、学識が優れ、国際的な視野を持ち、学内外からの信頼を得て、組織のリーダーとしてのコミュニケーション及び決断・実行できる能力
- 大阪大学の理念実現のため、将来のビジョン及び方策を明確に示し、高い志をもってその実現に取り組む能力
- 世界屈指の研究型総合大学を目指し、学内のガバナンスにおけるリーダーシップを発揮し、大学改革を強力に推進し、大学を進化させていく経営能力
- 大阪大学を自ら世界に開き、グローバル時代にふさわしい教育基盤及び研究環境を構築し、大学の存立基盤を確立するとともに、国際連携、地域連携及び産学連携を深め、社会の発展に資することができる能力